

新年の挨拶

高岡教区教務所長 宮川善裕

慈光照護のもと皆様方におかれましては、つつがなく新春をお迎えのことと慶賀に存じ上げます。昨年は、御同朋の社会をめぐす運動（実践運動）や教化団体における諸活動等、宗務事業の推進、また当教区教学財団の運営や直属寺院問題等につきましても、特段のご理解とご協力を賜り、衷心より御礼申しあげます。

お陰さまで、御同朋の社会をめぐす運動（実践運動）も二年目を迎え、各組においてもプロジェクトが進み、十二月末現在、十組の届出のもと実践いただいておりますこと感謝申し上げます。新たな始まりを期した宗門においては、この重点プロジェクトの推進が進まなければ、お念仏の声満ちる教団が発展していかないのではないかとの思いもあります。実践運動は、今まで長い間、中央からの発信によつて基幹運動として進められてきたものでもあり、今までの良い面悪い面をも精査した上で新たな始まりのとらえ方として進めていただければと願う事であります。

また、教区主催事業としては、連区布教使研修会や北陸ブロック組長会等の開催もあり、関係者の皆様方には多方面に渡りご尽力いただき有意義な会合となりましたこと感謝申しあげます。その他、築地での「平和を願う集い」や高岡教区公聴会の開催、僧侶研修会や教区委員研修会等々、様々な事業が執り行われ、新たな方

向性が示された事でもあります。

また、東日本大震災発生以降、引き続きご協力いただいております、現地復興支援・支援米の発送・そば打ち・ホームステイ等々、現地の状況を把握いただきつつ、被災地や被災された方々に寄り添った支援活動を行っていただいておりますこと感謝に堪えません。

教区としても、中長期的に支援活動を続けてまいりたいと思っておりますので、引き続き教区内皆様方のご支援をいただきたいと願っております。尚、当教区教学財団の運営にしましては、国の公益法人制度改革により、一般財団法人への移行が行われ、新たな役員体制のもと、一般財団法人として動き出しました。財団運営でありました「さくら保育園」については既に社会福祉法人化いたしており、高岡教区では、一般財団法人と社会福祉法人の二つの法人を持つているのが現状であります。また、昨年は清光学園創立五十周年にあたり、教区内各寺院様には多くの御芳志を賜りありがとうございました。今後とも学園の教育活動に関心をおもちいただき、折に触れてご指導・ご鞭撻いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

さて、今年、法統が継承される記念すべき年であります。六月五日を以てご門主様が退任され、翌六日には新門さまへ法統が継承されます。お代は変わりますが、私たちお念仏を慶ぶものとして、引き続き宗祖親鸞聖人のみ教えをいかに正しく後の世に伝え広めていくか、いか

に広く社会に浸透させるかを念頭におき、益々ご法儀が繁昌いたしますよう、皆様方のお力添えを賜りたいと思っております。また

それぞれにお祝い出来れば幸いです。今後、教区巡回・直属寺院巡拝等が行われることも思慮致し、また、伝灯奉告法要・親鸞聖人ご誕生八五〇年記念法要・立教開宗八百年慶讃法要と、三つの大きな法要のご修行も予想されます。時代と共に非常に厳しい社会情勢であります。法要を盛り上げていければと思っております。

今日の社会は、少子長寿化の進展、環境問題の深刻化等、様々な課題に直面しております。また、昨年は異常な気象変化により、例年以上に豪雨・地震・竜巻などの自然災害も多く、改めて自然の驚異と危機管理の重要性を認識させられる一年でもありました。

こうした激動と不安の時代であるからこそ、教区の将来にとって必要な確かつ大胆な施策並びに継続可能な施策を展開していくことが必要ではないかと思っております。

新年を迎え、職務の重責を今一度しっかりと受け止め、皆様方との緊密な連携のもと、職務に傾注したいと思っております。

本年もよろしく、ご指導・ご鞭撻の程お願い申し上げます。

高岡教区第十三次支援班が福島で餅つき

交流を深めた。

二月二五、二七日にかけて、教区災害救援活動専門委員会（織田隆夫委員長）の企画による第十三次支援班が全村避難の飯館村の仮設住宅を訪れ、餅つきとうどんの炊き出しを行った。（三頁に関連記事）

これは、一昨年から毎年末に行われているもので、三回目となった今回は、中学生から七十代の方まで過去最大の二十三名の参加、村民の方々と共に餅をつき、

二六日は、乳幼児のいる家庭

が多い吉倉宿舎での炊き出し。宿舎の玄関では昨夏の教区ホームステイに参加していた子供たちがお出迎え、ホストファミリーの支援班メンバーと再会を喜び合う場面も見られた。三度目となる今回、既に手慣れた様子で宿舎のお母さんたちもお手伝いされ、あつと言つ間に十臼がつかれた。また、今回は「とろろ昆布」や「昆布巻き蒲鉾」など富山特産の食材をのせたうどんの炊き出しも行い、物珍しそくに食べられる姿が印象的だった。また、最終日には福島市内の工業団地の一画にある松川第二仮設住宅に伺い、村の方々約五〇名と協力し、二〇〇軒分の鏡もちをついた。松川仮設は高齢な方が多いため、特に引きこもりがちになつてしまつ冬期の交流イベントは重要と思われた。

今回、支援班は活動の合間に、原発被害の現状を学ぶため、白江順昭さん（南相馬市光慶寺住職 光慶寺は昨秋、漏電による火災のため全焼）、杉岡誠さん（飯館村善仁寺住職）と嶋原良友さん（吉倉宿舎自治会長・「帰宅困難区域」である長泥地区出身）の三名の方からそれぞれお話しを伺った。二年九ヶ月が経過し、報道も少なくなり、社会の関心が薄くなるなかで、それぞれのおかれた状況と被害の深刻さをお話しされ、参加者も真剣に耳を傾け、問題意識を深めた。

教区災害救援活動専門委員会では、今回の交流を基礎としながら支援活動のあり方を今後も模索したいと



している。また、今回の物資購入にも活用された高岡教区災害支援金は現在のところ、二百一十カ寺、九十六団体、個人三十九名より計六百二十九万二千二百円。同専門委員会では引き続きの支援を呼びかけている。



御同朋の社会をめざす運動のコーナー

『伝わる気持ち』

私は、高岡教区第十三次支援隊として餅つきとうどんの炊き出しに行ってきました。昨年も餅つきや、図書館プロジェクトといった活動でおとずれた場所でした。

「前にも来てくれたよね、ありがとう」

たくさんの方が笑顔で話しかけてくださいました。顔を覚えていてくださったことがとても嬉しかったです。またこの日がくることをとても楽しみにしてくれていたのだと感じました。お餅を食べているときも、ずっと笑顔でした。「次、きなこのお餅食べる」とはしゃいでいる子どもがいたり、「さつきお昼ご飯食べたけどまだ食べれるわ」といつとうどんを食べてくれる方もおられました。たくさんの方の笑顔がみられて、私も笑顔になりました。

吉倉宿舍自治会長の嶋原さんが、震災の時の写真をスライドショーにし、見せてくださいました。写真の一枚一枚が心に響いてきて、言葉では表せない気持ちでいっぱいでした。またその時流れていた歌に“自分の故郷（ふるさと）を覚えていますか”という歌詞がありました。学校へ行き家へ帰り、寝る。私にとって何ともない当たり前の生活。電車に乗ると必ず友達に会えます。でも震災が起こった後、この当たり前の生活が当たり前にできなくなったのだと改めて痛感しました。今、生活している中には目に見えない放射能という物質があり、原発の事故が起きる前とは生活がとても変わったと思います。私たちはその時感じた思いを聞くことしかできません。でも、この気持ちを分かっただけでお

話をしてくださいます。私は現地の方から直接お話しを聞いたのでこんな気持ちで故郷から離れた人もいるのだと、今度は伝えていかなければならないと思います。


最初は単純に、力になりたいと思って東北支援活動に参加しました。でも実際に現地に行ってみると、自分は無力なのだと感じました。私には何ができるのだろうと考えました。考えても答えはできませんでした。答えはできませんが何度も訪問しています。回数を増やせば解決する問題ではないと思いますがこれからも訪問し続けたいと思っています。

避難生活をしている中で自分のやりがいを見つける、何かできることを考えるとお話しされました。今まで家でトルコキキョウを栽培していた方は「いつかまた村でこの花を」と避難先で栽培しているそうです。自分のやりがいだった花を栽培することをまた始めたそうです。出荷できるのがいつになるかわからないけど、前を向いているような気がして、その強い気持ちはすごいと思いました。

今回のこの活動で現地の方のお話しを聞き、テレビや新聞では分からないことがたくさんありました。ここで感じた気持ちを忘れずにもっといろいろな方に知ってもらいたいと思います。なかなか言葉にするのは難しいですが少しでも伝わればいいなと思います。この活動に参加できてとてもいい経験になりました。

【高岡龍谷高校三年 吉田奈津子】

これからの日程 (1 / 2 0 ~ 2 / 2 0)

1月			
20	門徒総代会幹事会 教区新年会 財団理事・開発室懇談会	<p>1月14～16日 で、御正忌報恩講の ため教務所事務休業 いたします。</p> 	
22	長寿苑ビハーラ活動 聖典セミナー (8 回目)		
23	仏婦大会運営委員会		
24	ヤスクニ問題専門委員会		
25	まことの保育研修会 関野組連研 (会場貸し)		
27	教区委常任委員会		
28	仏婦連盟新年会 教区青年布教使研修会		
31	水波組実践運動研修会		
2月			
4	水波組聞法のつどい		<p>連区青年布教使研修会 (~ 6 ・ 石川) ブロック保育連絡協議会 (~ 8 日 ・ 岐阜)</p>
5	雨晴苑ビハーラ活動		
6			
7			
8	関野組連研 (会場貸し) 中仏生のつどい		
11	常例法座	<p>仏壮中央研修会 (~ 1 6 ・ 本山)</p>	
13	講社連盟新年会		
15	中仏生のつどい	<p>第 2 連区職員研修会 (~ 2 1 ・ 岐阜)</p>	
16			
18	聖典セミナー (9 回目)		
19	関野組実践運動研修会		
20			
21			

ラジオ放送～西本願寺の時間～

『みほとけとともに』

北日本放送 (K N B) ・ 7 3 8 k H z .
毎週土曜日 (本山制作) 午前 6:15 ~ 6:25
第 2 ・ 4 日曜日 (富山・高岡制作) 午前 6:00 ~ 6:10

- 1 / 12 (日) : 仲尾 信博 氏 (富山別院輪番)
1 / 18 (土) : 浅田 恵真 氏
(浄土真宗本願寺派勧学)
「 生 死 を 超 え る 力 」
1 / 25 (土) : 浅田 恵真 氏
(浄土真宗本願寺派勧学)
「 仏 法 に お け る 主 人 公 」
1 / 26 (日) : 石川 了英 氏 (富山教区会議長)
2 / 1 (土) : 未 定
2 / 8 (土) : 未 定
2 / 9 (日) : 澁谷 誠 氏 (氷見組・浄蓮寺)
2 / 15 (土) : 未 定
2 / 22 (土) : 未 定
2 / 23 (日) : 河合 宣彰 氏 (川上組・等覚寺)

【西本願寺高岡会館2月の常例法座】

ご講師：鷺 森 昭 見 氏
(氷見西組・浄善寺)

ご講題：『 未 定 』

午後 1 時 2 0 分 頃 から ビデオ 上 映 、 2 時 から
お正信偈六首引のお勤めです。どうぞお誘い
あわせてお参りください。

編集後記

冷凍食品から農薬が検出され、食の安全が脅かされています。たまたま、買った冷凍のピザが今回問題のあった会社の商品でした。回収商品ではなかったものの、不安を覚えてしまいました。(結局、問題なくおいしくいただきました)

農薬混入の原因は不明であるが、なぜか冷凍食品は良くないものというイメージを持ってしまった人もいるのではないかと思います。説明が二転三転する状況に、何事も最初の対応が大事であるのだと今回の事件を見て改めて思つ中、今年は、特に初動を間違えないようにしなければと思つておる所であります。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

(担当)

お知らせ

『法輪せんべい』販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかがでしょうか。お申し込み先は下記のとおり。

FAX. でのお申し込みも承ります。どうぞご利用下さい。

一袋二枚入りで価格は次の通り

一袋二枚入りで価格は次の通り

・特大箱 (170 袋) 8 , 3 0 0 円

・大 箱 (36 袋) 2 , 3 0 0 円

・ 1 組 (10 袋) 5 0 0 円

お申込み先は・・・〒933 - 0003 高岡市能町 1 2 9 8

耳浦 康真 (本誓寺) Tel. & Fax. (0766) 23 - 9822